

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 30 年 3 月 30 日

仕事の内容	長寿祝金等支給事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 高齢者保健福祉の推進

(総合計画書 51 ページ)

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 3 老人福祉費	事業 5 高齢者慶祝事業
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	100歳以上の市民 最高齢者 30,000円を支給 百歳以上者 10,000円を支給			→ 市内65歳以上の高齢者数(4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	長寿を祝うとともに、敬老の意を表すことで、高齢者自らの生活意欲の向上と生きがいの増進につなげてもらう。			→ 100歳以上の市民
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	最高齢者(4月に訪問)及び100歳以上の市民(誕生日またはその翌月に訪問)に祝金を支給し、花束を贈呈している。最高齢者及び新百歳に対しては、市長が表敬訪問している。			→ 100歳以上の市民

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
指標の推移	対象指標	①の数値	人	21,387	21,957	22,350	
	成果指標	②の数値	人歳	35 最高齢者107	32 最高齢者106	36 歳高齢者104	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	人歳	35 最高齢者107	32 最高齢者106	36 歳高齢者104		

3 経費	事業費(実績)		円	559,000	512,800	563,600	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	559,000	512,800	563,600	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	823,300	826,700	825,300	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	1,382,300	1,339,500	1,388,900		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和50年度から88歳以上の市民に対し、敬老金のほか、長寿を祝うため長寿祝金としても、5,000円を追加支給していた。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	対象者増加により見直しを行い、平成13年度以降は100歳以上を対象としている。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	特になし
----------	--	------

仕 事 の 内 容	長寿祝金等支給事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法	
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	特になし		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 慶祝事業については、公費を支出することに議論がある。		
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 事業の見直しも含めて検討する余地がある。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。		
	特になし		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
	成果	成果を縮小していく。	経費